

学習活動

「宿泊体験学習に行こう！」当日

盛岡市にでかけて、宿泊施設・余暇施設、交通機関の利用などをおして、見聞を広めたり生活する力を高めたりする学習

(バス・電車の利用、レストランの利用、買い物、カラオケ・映画館・ボウリング場の利用、ホテルの利用等)

活用の目的

- しおり、部屋割り、施設利用のマナーといったデジタル教材やバスの時刻表を保存しておくことで、随時日程確認を行うことができるようにする。
- タイマーアプリ等によって、時間に沿った行動が取れるよう支援する。
- 歯磨き映像を保存しておき、生徒の支援に使えるようにする。
- 写真・動画撮影を行うことで、当日や後日、振り返りができるようにする。



活用の実際と工夫

- 生徒への説明、職員の日程確認等に使えるように、各種資料を保存する。
(使用アプリ「iBooks」「Adobe Reader」「GoodNotes」「Keynote」)

生徒に「岩手県交通のバス時刻表は。」と尋ねられた際に、バス停の場所と時刻表の資料を提示できた。それ以外ではあまり使う機会はなかった。

- 食事や出発までの時間が気になる ASD(自閉症スペクトラム障がい)のある生徒への支援として、iPad の視覚的タイマーアプリ(Visual Timer)を表示して置いておき、生徒自らが時間を確認できるようにする。



「夕ごはんはいつですか。」と尋ねられたため、iPad の「Visual Timer」で残りの時間を表示した。以前は怒り出したことのある生徒だったが、夕飯まで落ち着いて待つことができた。

- 歯磨きカードといった手作り教材を各自持って行くのは荷物の関係で難しいため、iPad に保存した歯磨き動画で生徒の歯磨きを支援する。



歯磨きを支援する映像教材を使用した。

1年生はこの教材を毎日使用しており、2・3年生は昨年度の学習で行っているため、普段通りに歯磨きができた。

※指導および教材については、ICT 活用実践の H25「[歯磨き](#)」H24「[歯磨き名人になろう](#)」を参照。

○当日や後日の振り返りに利用するために、写真や動画の撮影機能を利用する。



iPad の写真・動画撮影は画質が良く、テレビに映しても十分に使うことができる。ただし動画撮影は大きく写ってしまうのが難点である。(被写体がかなり遠くにならないと画面に収まらない。) 事後指導では HDMI ケーブルと Lighting Digital AV アダプタを使ってデジタルテレビに繋ぎ、画像や動画を閲覧した。その後の作文等の参考にもなった。振り返りの手がかりとしては動画が最も優れている。

活用の効果 ○効果 ●課題

- あまり使う機会のなかったビューアー、リーダー、プレゼン系のアプリであったが、例えば「普段使っている約束カードをデータで持ち歩きたい」「日程やマナー等についての資料を持ち歩きたい」「映像教材を持って行きたい」等の要望には十分に答えられるようである。
- 宿泊先のホテルには Wi-Fi を使える場所が増えてきている。これをうまく利用すれば、以下のことも可能になるのではないかと。
 - ・生徒が活動している様子を、外部サーバー経由(ストレージサービスの利用)で学校や保護者に伝える。
 - ・旅先での様子をその日のうちに学校ブログに掲載する。
 - ・災害等の急なトラブルが起こった際に情報を発信する。 等々…
 規制や規約等をクリアできれば、情報を即発信・共有できるツールになりそうである。
- 写真や動画を撮影するためだけに持ち歩くのであれば、大きくてあまり使い勝手は良くない。
- iPad は、振り返りの学習にはもちろん、ホテルでその日の写真や動画を見る際にも適している。
- お天気アプリ、地図アプリ、グルメ検索アプリなども、役に立ちそうである。
- iPad はただの支援機器ではなく PC と同じような機能を持っているため、破損や紛失には十分に気をつける必要がある。